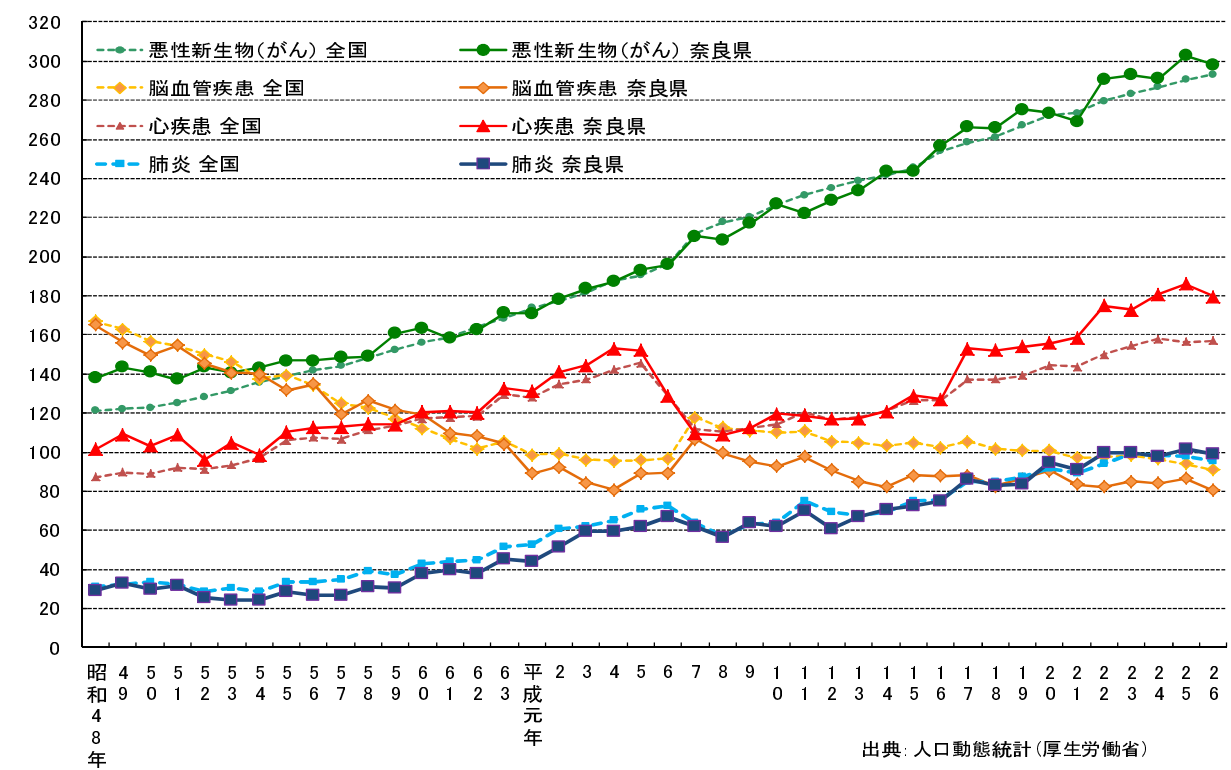
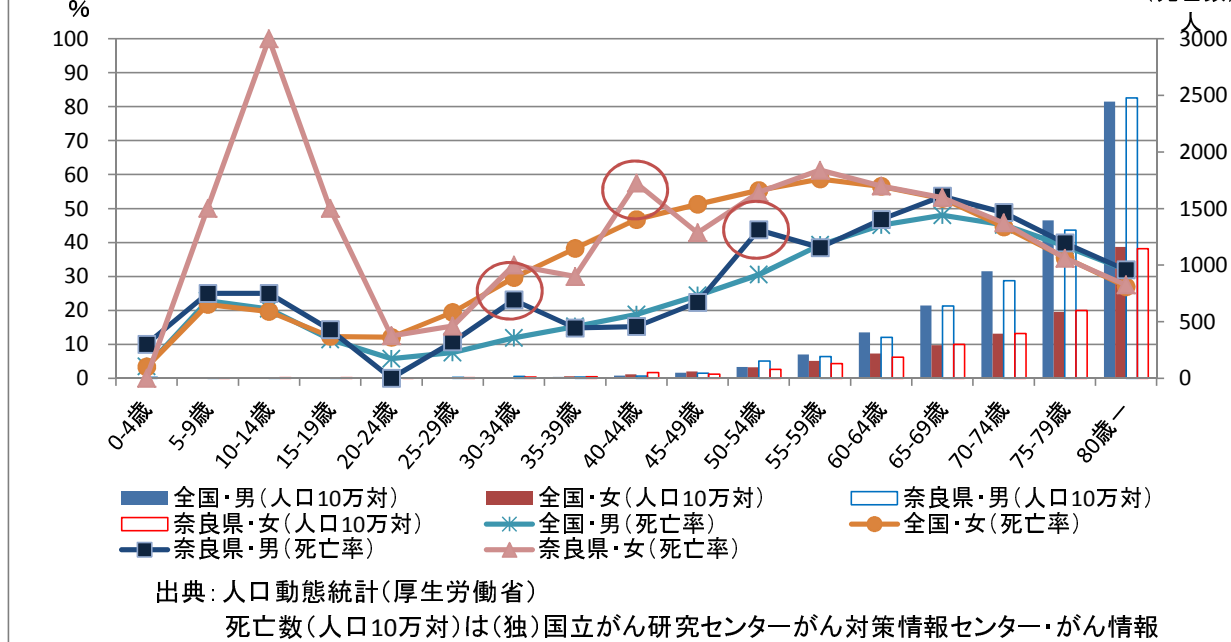


図1 主な死因別死亡率の推移(人口10万対)



・本県におけるがん死亡数は、昭和54（1979）年に脳血管疾患を上回り、死亡原因の第1位となり、それ以降も増加傾向をたどっている。（図1）

図2 年齢階級別のがんによる死亡数(人口10万対)、総死亡数に占める割合(平成26年)



・平成26（2014）年の死亡数の状況を年齢階級別にみると、がんによる死亡数（人口10万対）は、全国と同様に、40歳代以降、年齢が上がるにつれて増加している。また、総死亡数に占めるがんによる死亡の割合は、全国と比べて、男性については、30～34歳、50～54歳で高くなっている。また、女性では若年層を除き、全国と比べて40～44歳で高くなっている。（図2）

図3 奈良県の主な死因別死亡数(平成26年)

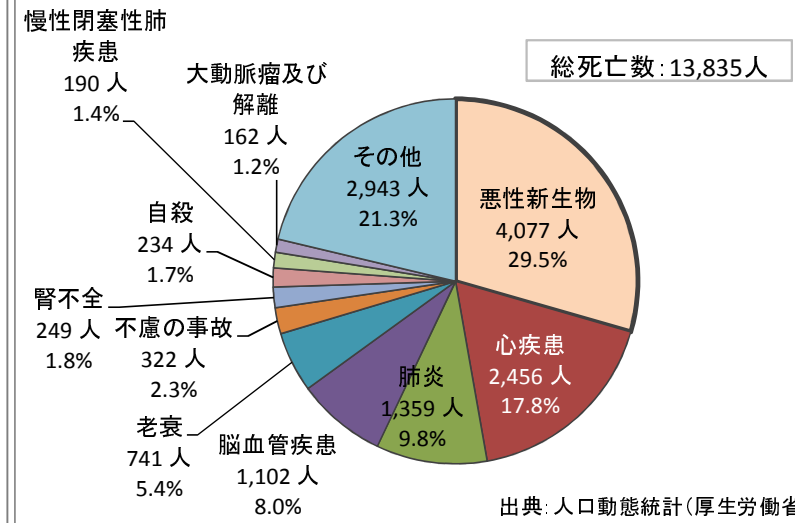
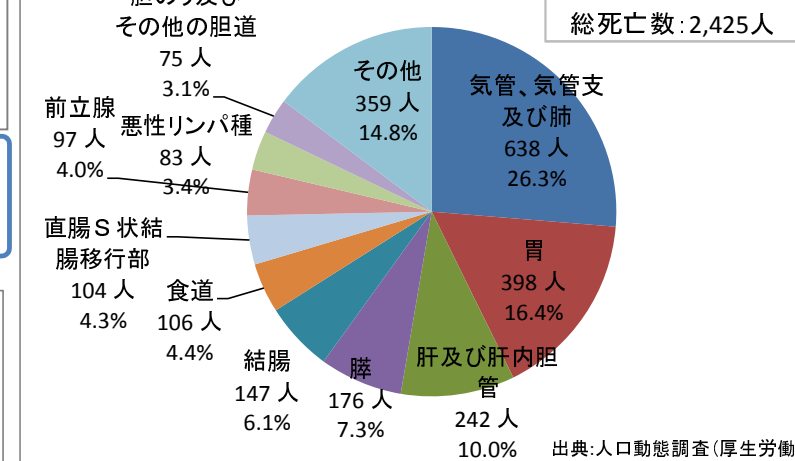


図5 奈良県の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成26年 男性)



・平成26（2014）年には、4,075人が、がんで死亡し、総死亡数に占めるがんによる死亡数の割合は29.5％（全国28.9％）となっている。（図3、図4）

・平成26（2014）年のがんによる死亡数についてがんの部位別にみると、男性の場合「気管、気管支及び肺」（26.3％）と最も多く、次いで「胃」（16.4％）、「肝及び肝内胆管」（10.0％）順となっている。女性の場合は、「気管、気管支及び肺」（15.5％）、「胃」（13.6％）、「膵」（10.2％）の順となっている。（図5、図6）

図4 全国の主な死因別死亡数(平成26年)

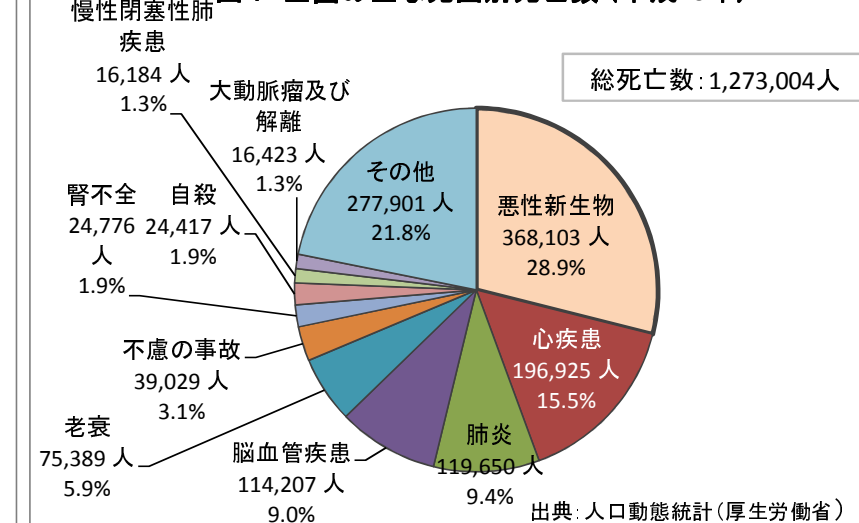


図6 奈良県の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成26年 女性)

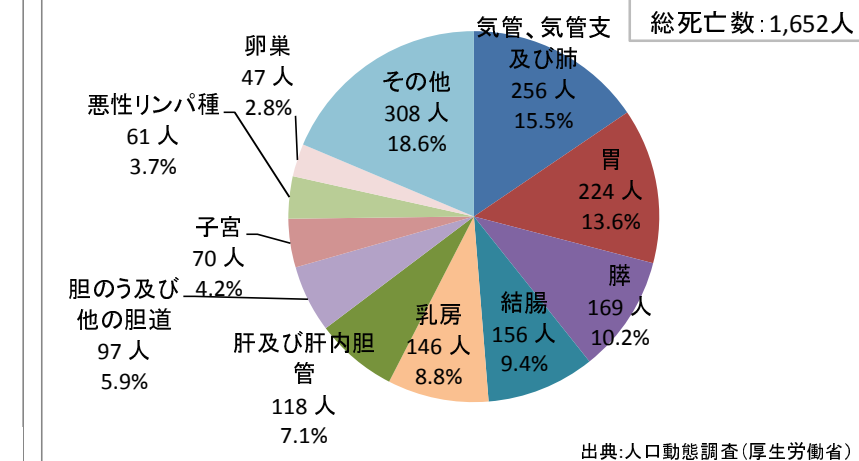
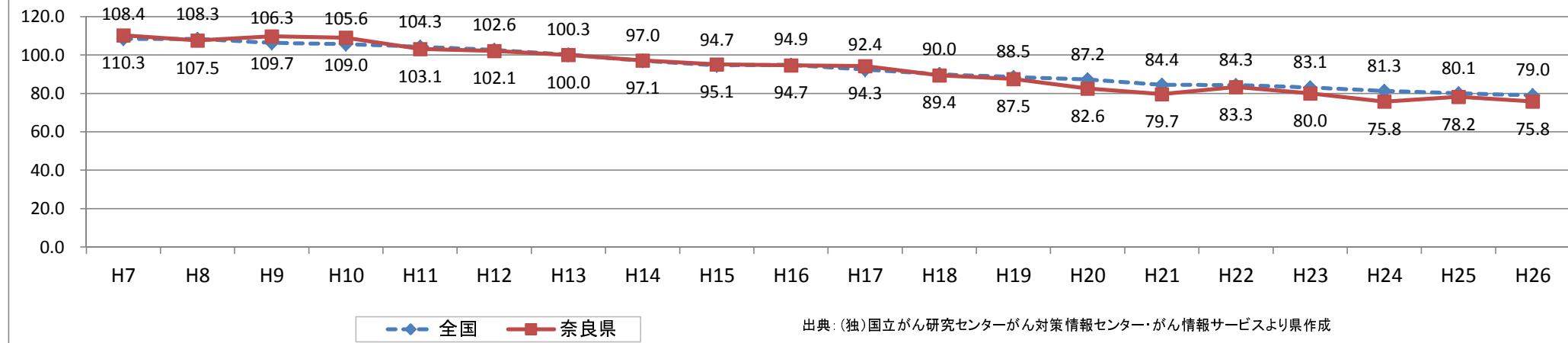


図7 がん年齢調整死亡率の推移(75歳未満:人口10万対)

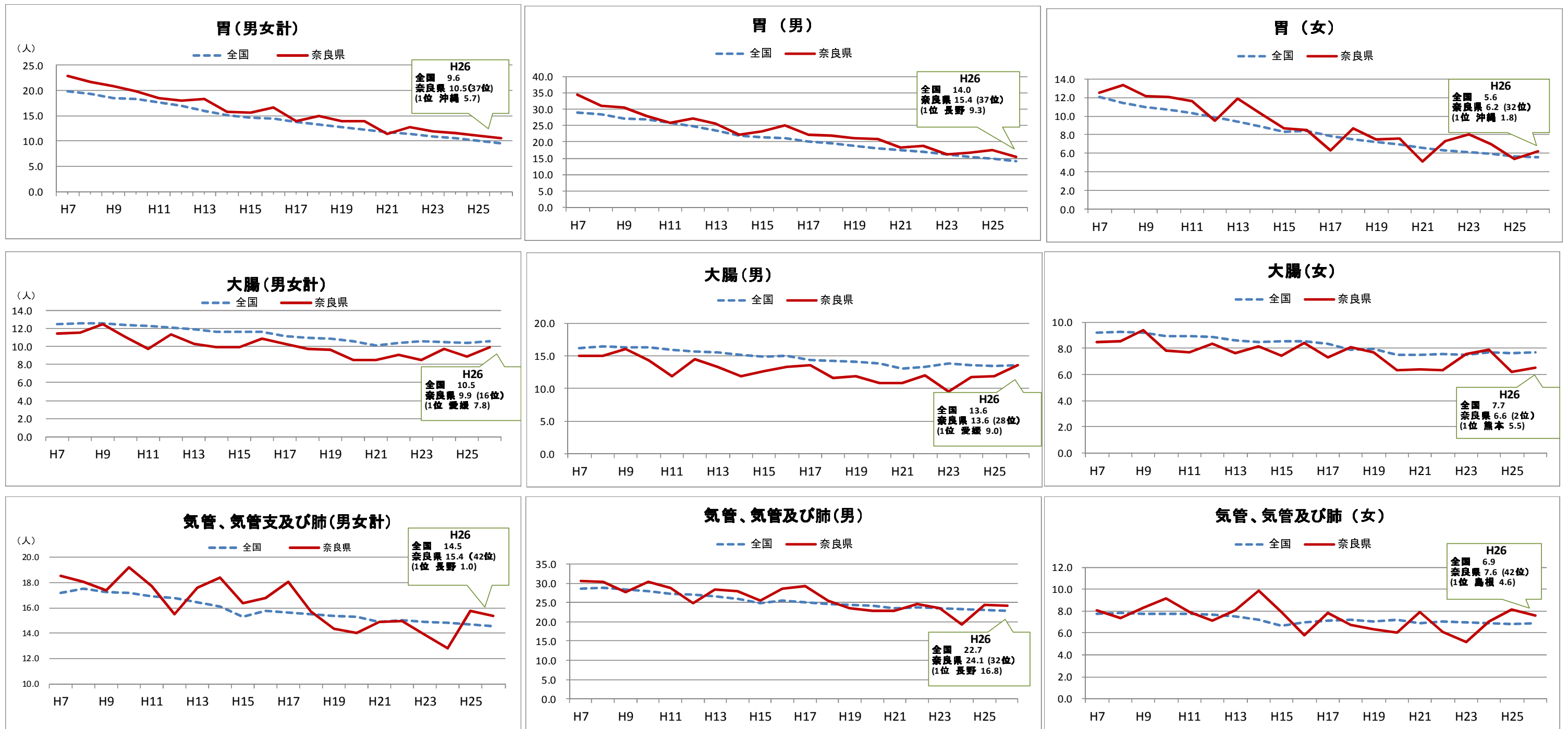


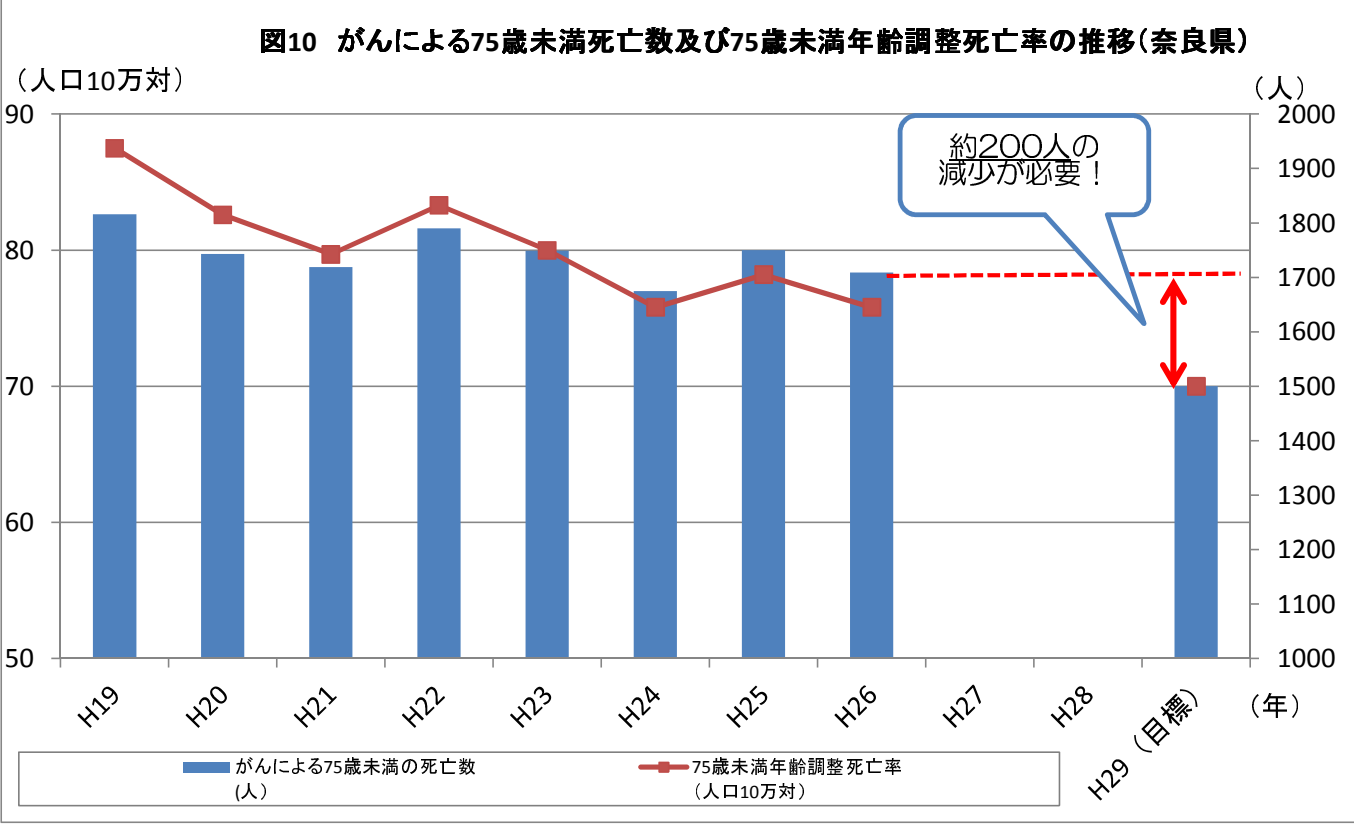
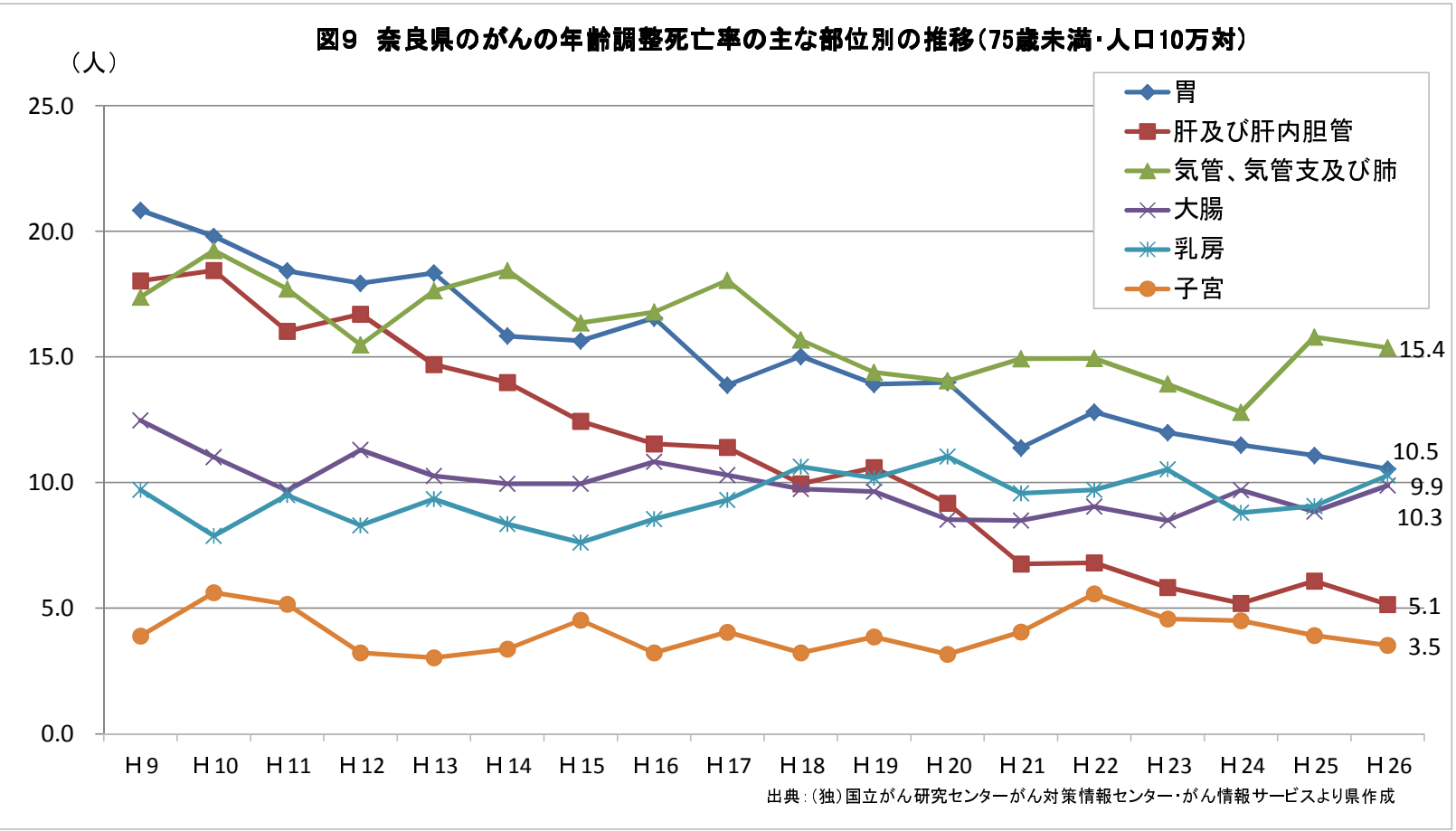
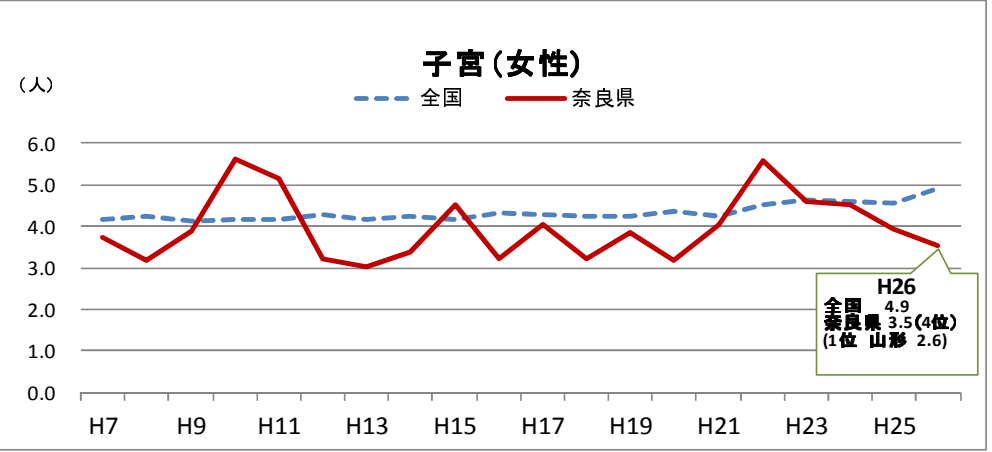
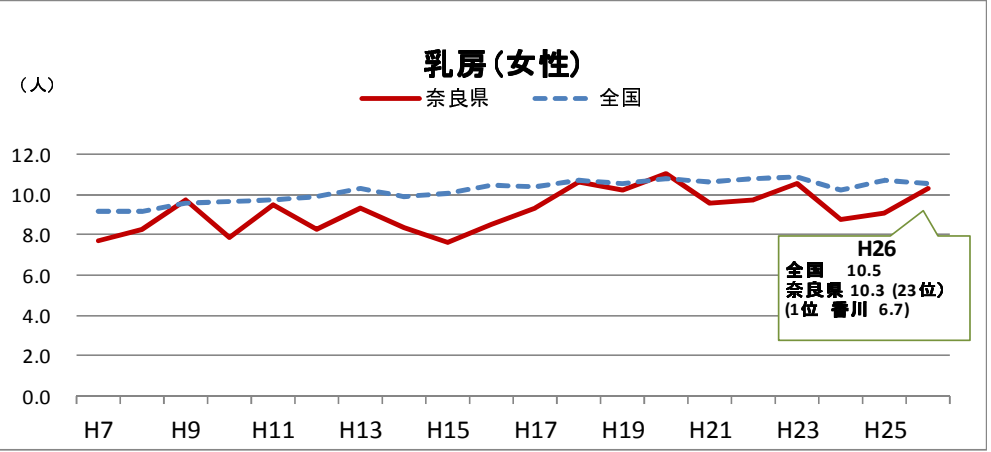
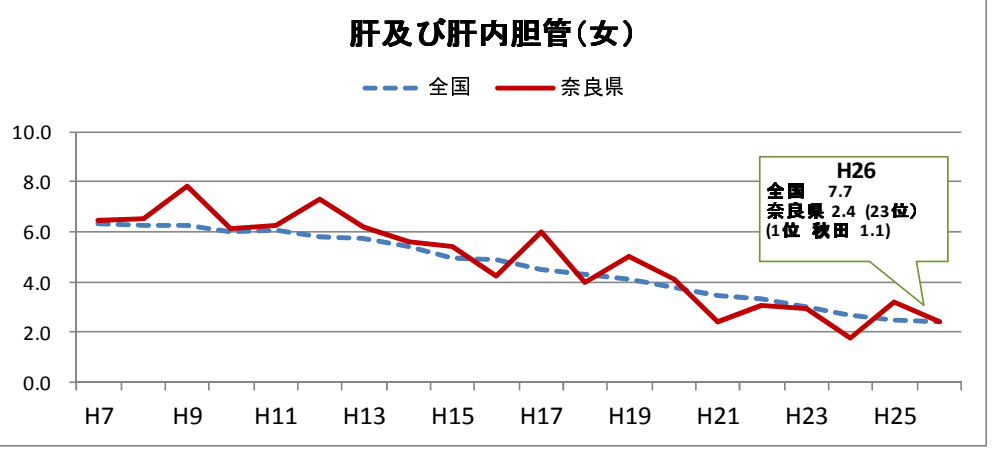
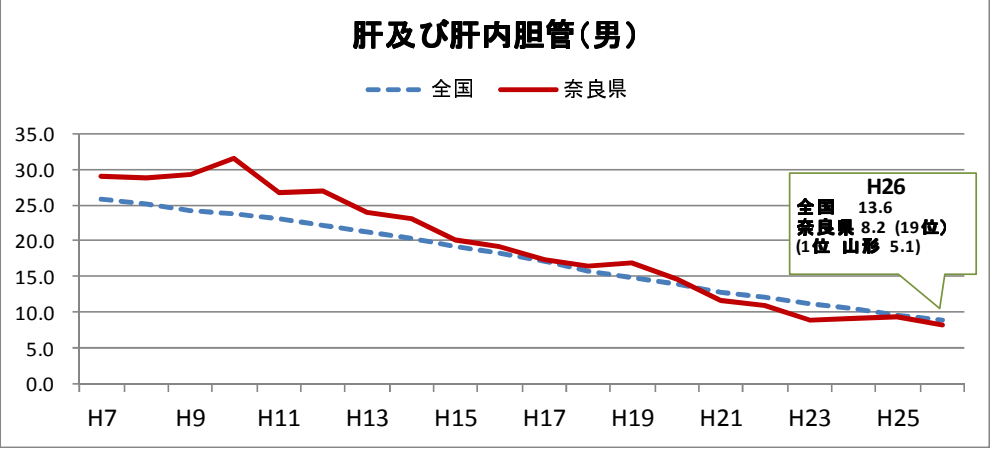
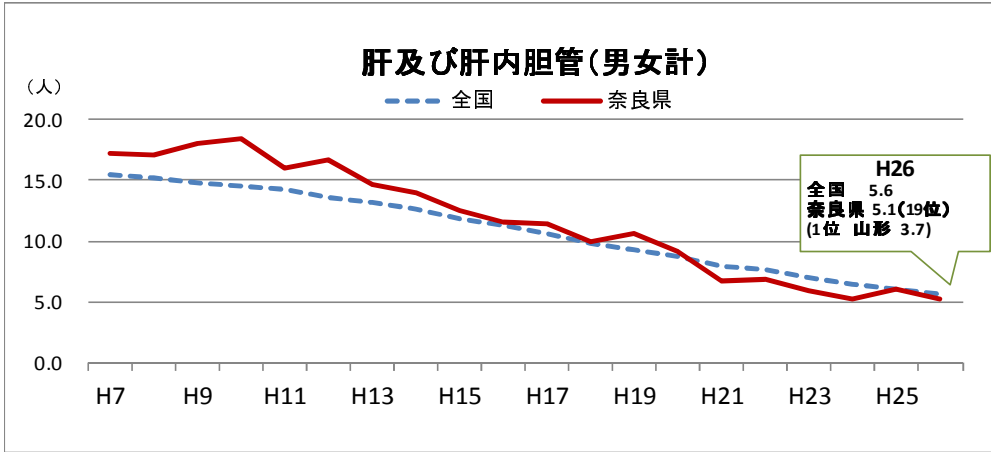
・がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対)をみると、年々減少傾向にあり、平成26(2014)年では、75.8(全国79.0)となっており、平成18年以降、全国値を下回っている。(図7)

・主な部位別について、全国との比較では、胃がん、肺がんは全国値を上回る状況で推移しているが、大腸がん、乳がん、子宮がんはおおむね全国値を下回る状況で推移している。(図8)

≪年齢調整死亡率≫
年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率。

図8 主な部位別 がんの年齢調整死亡率の推移(75歳未満:人口10万対)

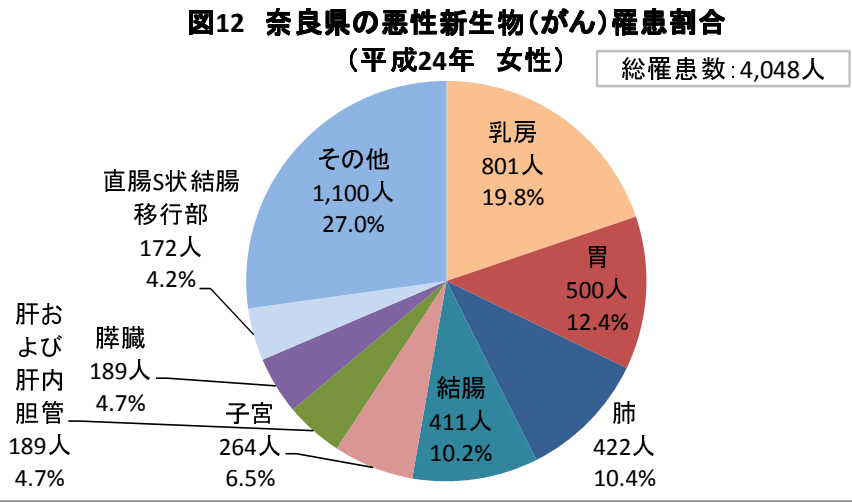
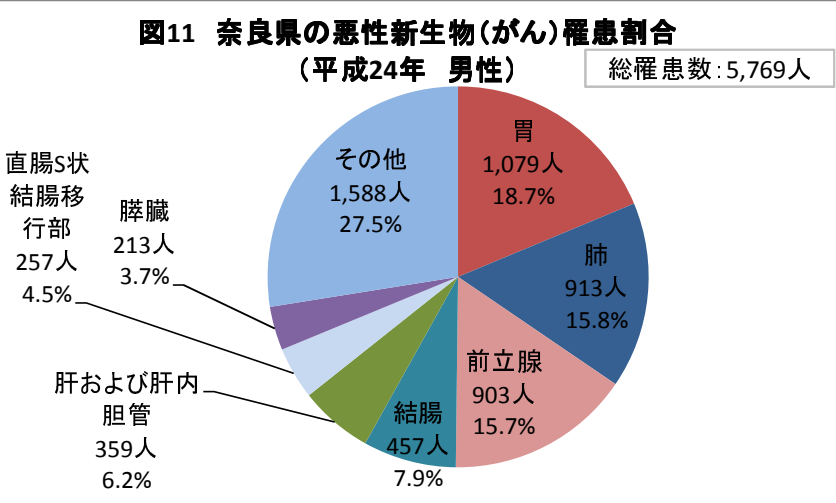




	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29(目標)
がんによる75歳未満の死亡数(人)	1,816	1,743	1,719	1,790	1,749	1,675	1,750	1,709			1,500
75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	87.5	82.6	79.7	83.3	80.0	75.8	78.2	75.8			70

・主な部位別に経年変化を比較すると、「胃がん」「肝がん」については、減少傾向だが、「乳がん」については、やや増加傾向で推移している。

奈良県のがんに関する現状について
 （2. がん罹患の状況について）



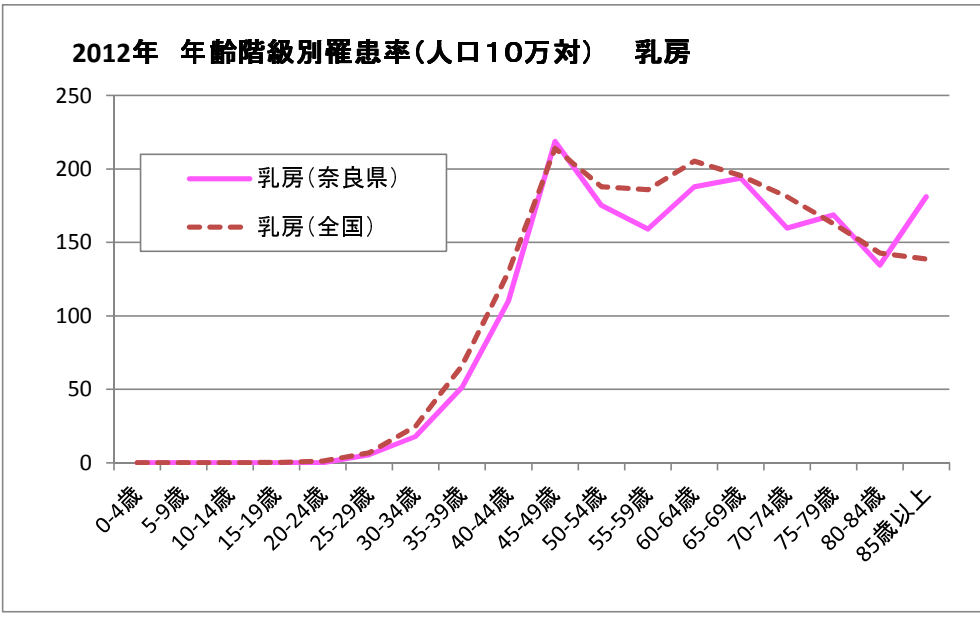
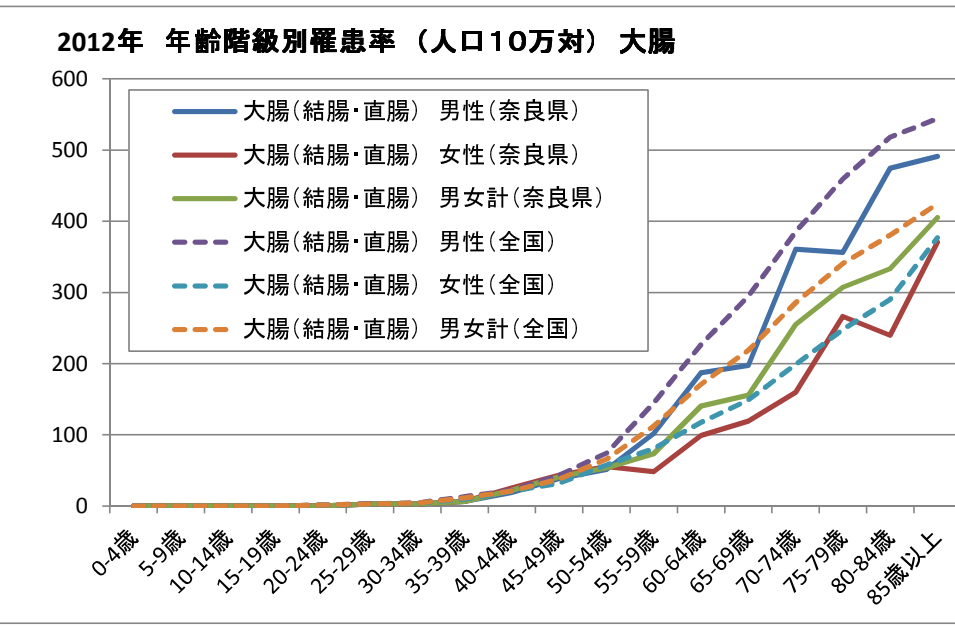
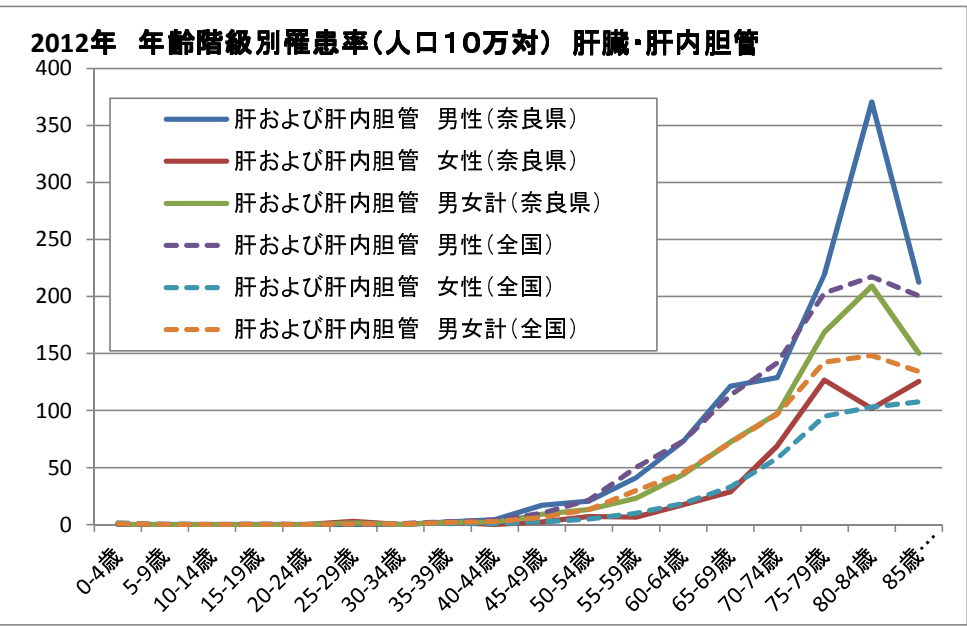
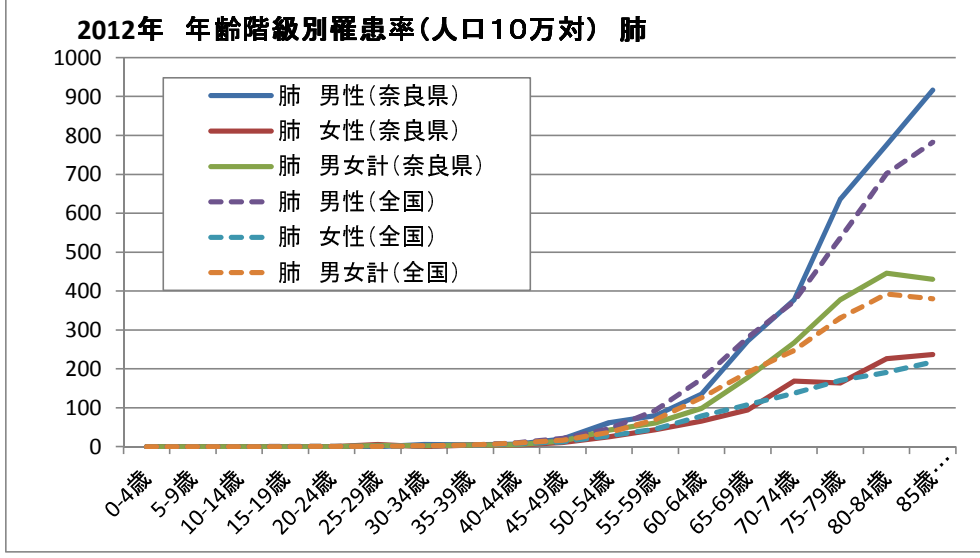
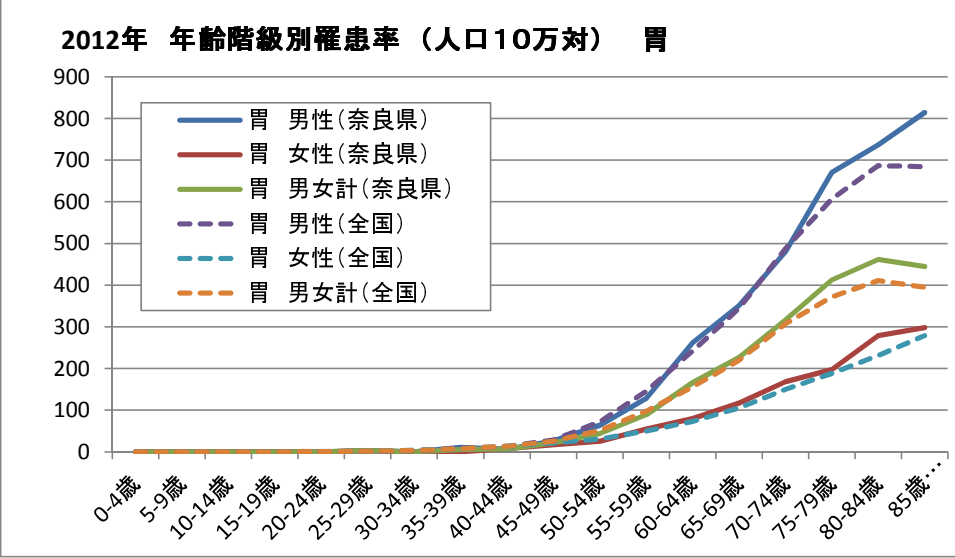
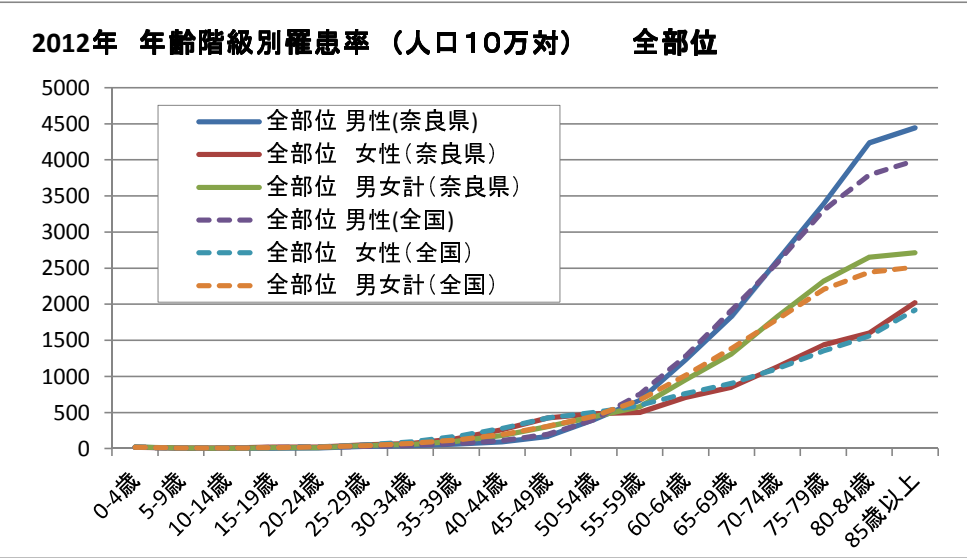
・がんの罹患数について部位別にみると、男性の場合「胃」(18.7%)が最も多く、次いで「肺」(15.8%)、「前立腺」(15.7%)の順となっている。女性の場合は「乳房」(19.8%)が最も多く、次いで「胃」(12.4%)、「肺」(10.4%)の順となっている。(図11、図12)

・がんの年齢階級別罹患率をみると、「胃」「肺」については、全体的にどの年齢層も全国値を上回っており、反面「大腸」については、全国値を下回っている状況であった。(図13)

出典:全国がん罹患モニタリング集計 2012年罹患数・率報告
 (国立がん研究センターがん対策情報センター)

＊がん罹患率については、地域がん登録でしか把握できないが、奈良県では2012年症例より精度基準Aを満たしている。
 全国推計値として国立がん研究センターが公表している全国データは、精度基準Aを満たした28県からなっている。

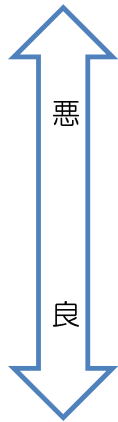
図13 主な部位別 がんの年齢階級別罹患率(人口10万対)



奈良県のがんに関する現状について（3. その他）

二次医療圏名			奈良	東和	西和	中和	南和
区域 (市町村)			奈良市	天理市、桜井市、 宇陀市、山添村、 川西町、三宅町、 田原本町、曽爾村、 御杖村	大和郡山市、生駒市、 平群町、三郷町、 斑鳩町、安堵町、 上牧町、王寺町、 河合町	大和高田市、橿原市、 御所市、香芝市、 葛城市、高取町、 明日香村、広陵町	五條市、吉野町、 大淀町、下市町、 黒滝村、天川村、 野迫川村、十津川村、 下北山村、上北山村、 東吉野村
全がん	男性	ワースト 順位	213	133	177	205	78
		死亡率	96.9	101.5	98.7	97.3	105.3
	女性	ワースト 順位	192	63	137	109	64
		死亡率	96.8	104.3	99.7	101.1	104.3
胃	男性	ワースト 順位	92	68	150	127	14
		死亡率	108.1	111.8	101.7	103.4	128.3
	女性	ワースト 順位	73	32	43	71	15
		死亡率	113.1	122.6	118.0	113.5	133.3
大腸	男性	ワースト 順位	322	323	244	306	129
		死亡率	79.5	78.3	91.4	82.0	102.8
	女性	ワースト 順位	303	228	175	183	131
		死亡率	80.8	92.6	99.3	97.8	103.1
肝	男性	ワースト 順位	159	116	122	158	73
		死亡率	99.4	107.3	106.1	99.8	117.5
	女性	ワースト 順位	215	107	82	143	204
		死亡率	88.2	109.3	117.8	99.9	90.1
肺	男性	ワースト 順位	180	88	134	74	34
		死亡率	98.3	108.2	103.0	109.8	117.4
	女性	ワースト 順位	126	123	74	73	20
		死亡率	99.1	99.3	108.1	108.1	124.6

ワースト1～50	
ワースト51～100	
ワースト101～150	
ワースト151～200	
ワースト201～250	
ワースト251～300	
ワースト301～344	



「標準化死亡比」
地域間の死亡状況を簡単に比較するための指標で、全国値を100として、その地域の死亡の度合いを示す。
(今回のデータ：2008～2012年の5年間に死亡した人の標準化死亡比)

出典：全国地域別・病床機能情報等データベース

